



60100-XK5 -K0S0 AERO BONNET KIT

for HONDA INTEGRA

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
取り付け前には、本書をよく読み、ご理解の上、正しくお取り付け下さい。
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のない事を確認して下さい。
2. 取り付け前に取付車両の型式と色記号の確認を行って下さい。
[適応車種] INTEGRA DC5-100~
3. 商品の塗装後の返品は受け付けられませんので、塗装前に無理なく装着出来ることを必ず確認して下さい。
4. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
5. 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 無限 / 営業部 【営業時間 9:00~18:00】

TEL. 048-462-3135 FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. エアロボンネットが事故や接触等により、破損・変形した場合は、直ちに修復するか取り外して下さい。そのままの走行は事故につながる恐れがあり、大変危険です。
2. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。

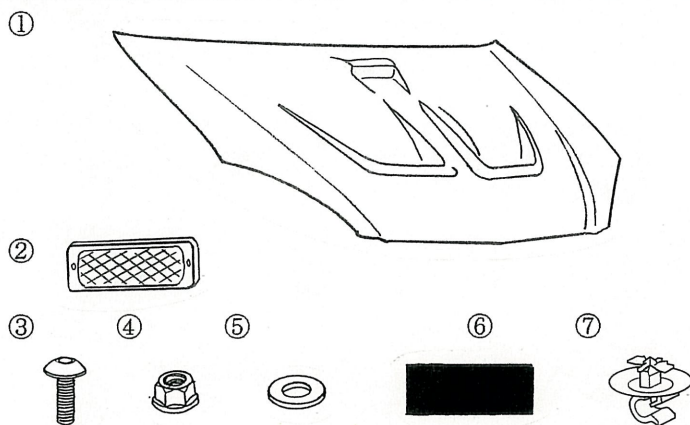
◆◆塗装作業の注意事項◆◆

1. 塗装作業前に必ず車両への取り付けを行い、無理なく取り付くことを確認して下さい。
2. カーボン表面は紫外線により変色する恐れがありますので、塗装を必ず行って下さい。
3. 本製品はカーボン・プリプレグをオートクレーブ成型したボンネットの為、表面にピンホールが多少発生します。下地処理前によく検査し、必要に応じてパテ仕上等を行って下さい。
4. 塗装は、本塗り前に必ず下地処理（足付け研磨、パテ仕上、サーフェーサー仕上）を行って下さい。
5. その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行って下さい。

推奨品 サーフェーサー：NCサーフェーサーまたはウレタン系サーフェーサー
塗料 料：2液性アクリルウレタン樹脂塗料（常温乾燥タイプ）

【構成部品表】

No.	PARTS NAME	QTY
①	ボンネット	1
②	ダクトカバー	1
③	ボルト 3×14	2
④	ナットM3	2
⑤	ワッシャφ3	2
⑥	ブラックシール	1
⑦	チューブクリップ	1



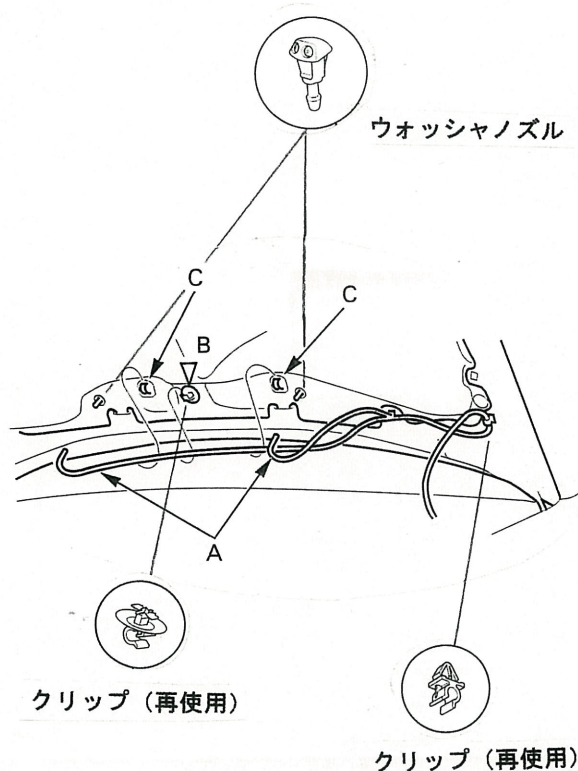
【必要工具】

- ・ドライバー ⊖
- ・スパナ
- ・ラチェット
- ・クリップリムーバー
- ・マスキングテープ
- ・6角レンチ

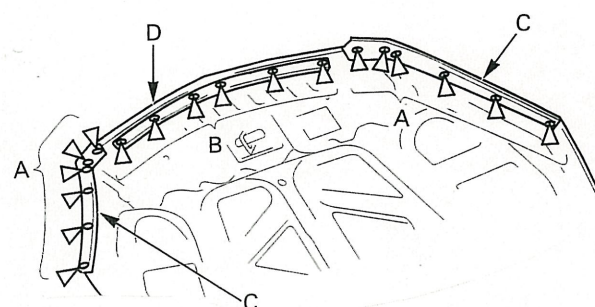
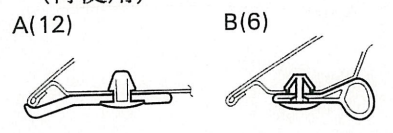
I. 取付準備

- 【注意】・ボンネットおよび車体にキズ等付けないように注意して作業をすること。
・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

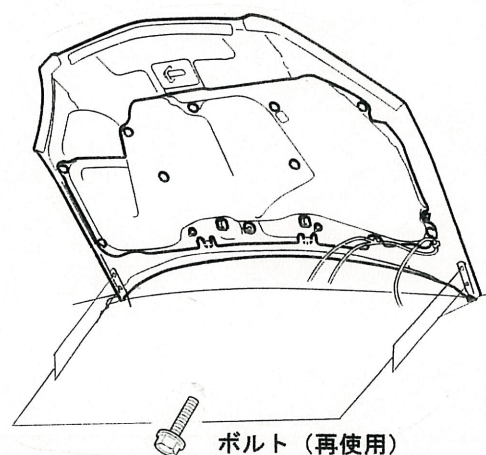
- ① ボンネットを開く
- ② フロント ウォッシャ チューブ(A)の接続を外し、クリップ リムーバーでクリップ(B)を外し、フック(C)からチューブを外す。
- ③ ウォッシャノズルを外す。



- ④ クリップ リムーバーを使用してクリップ(A, B)を外し、ボンネット シール(C)、センタ ボンネット シール(D)を取り外す。(再使用)



- ⑤ ボンネットを取り外す。



II. 取付準備

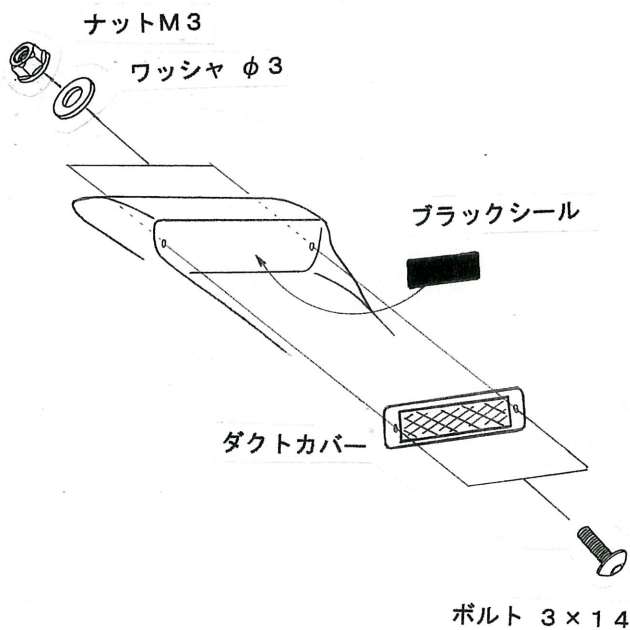
《注意》・ボンネットおよび車体にキズ等付けないように注意して作業をすること。

・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

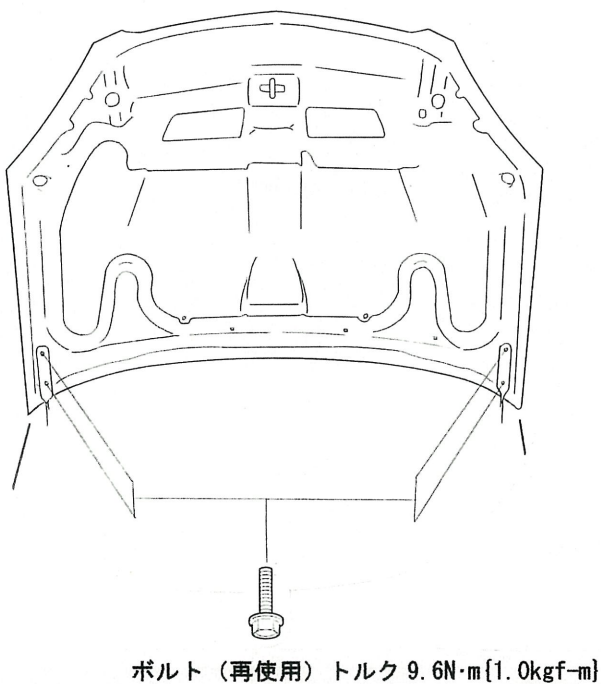
① エアロ ボンネット ダクト部をホワイトガソリンで脱脂洗浄し、ブラック シールを貼り付ける。

② ダクトカバーを取り付ける。

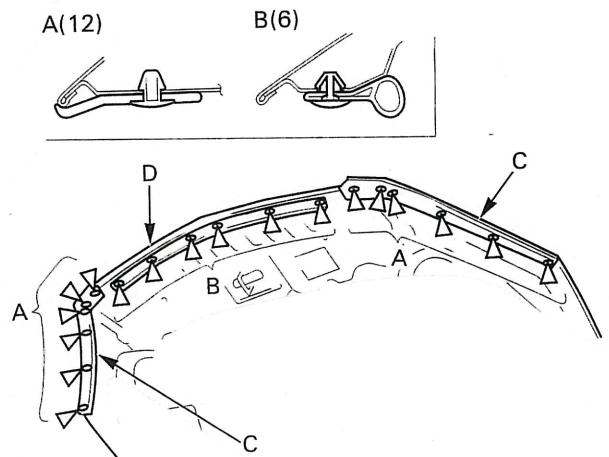
※ボルトはカバーが変形しない程度に締め付けること。



③ エアロ ボンネットを車体に取り付ける。

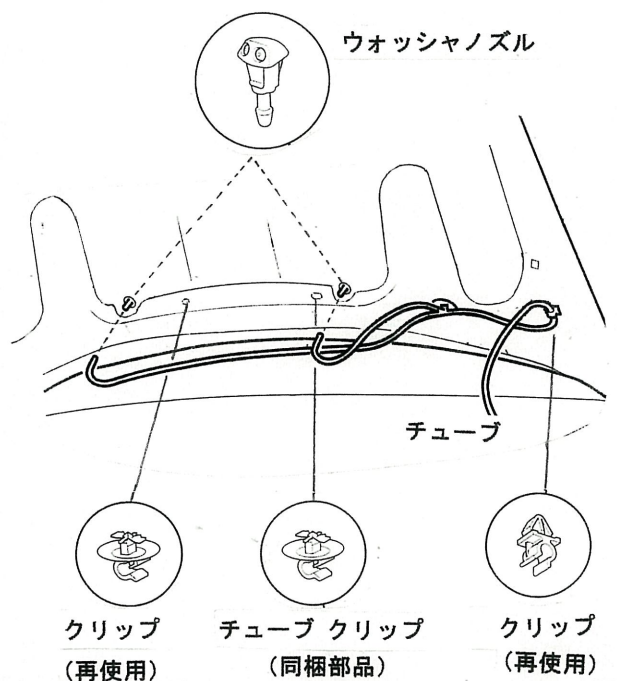


④ ボンネット シール(C)、センタ ボンネット シール(D)をエアロ ボンネットに取り付ける。



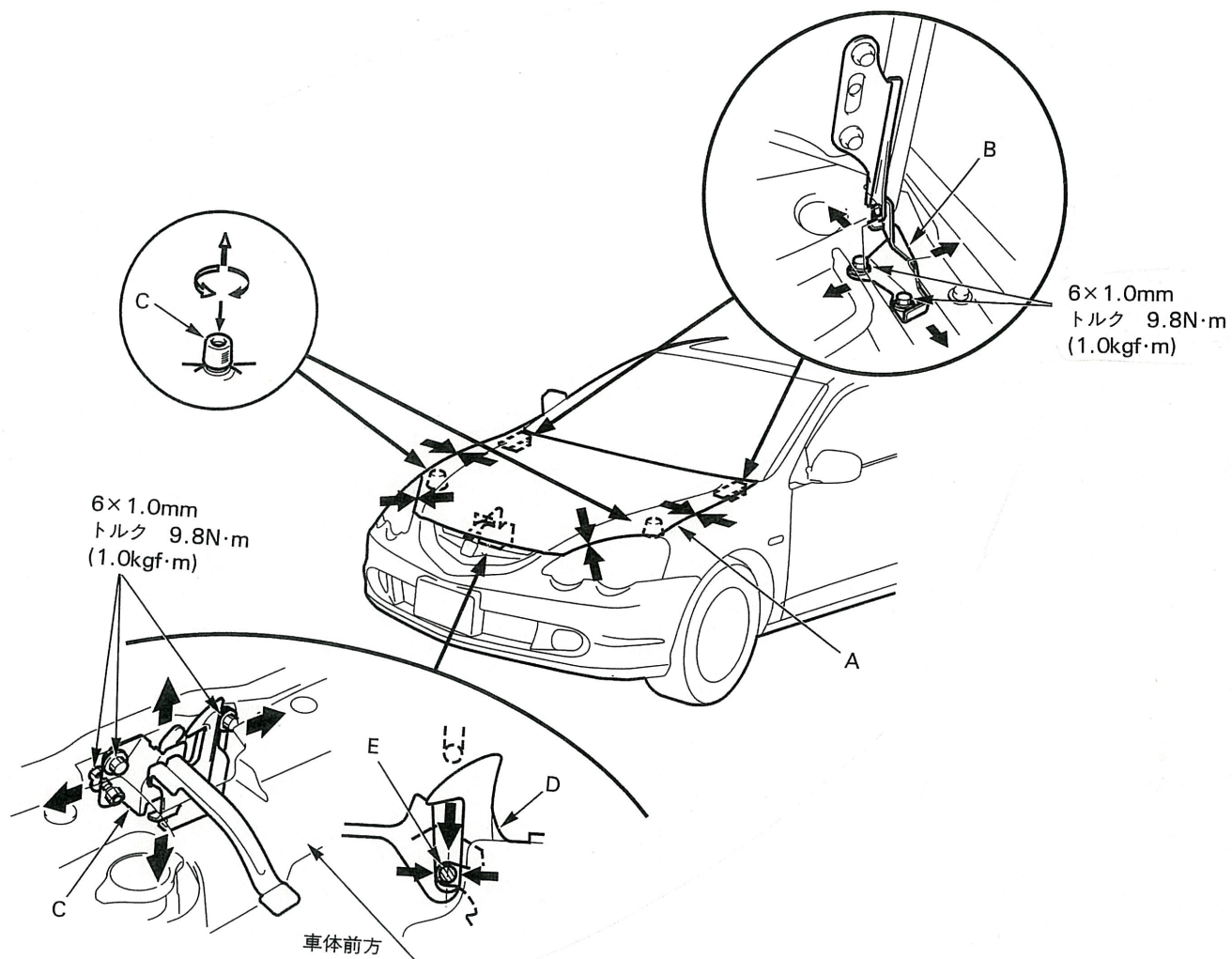
⑤ ウォッシャノズル及びウォッシャチューブを組み付ける。

※組み付け後、ウォッシャの着水位置を確認する。



⑥ ボンネットの建付け調節を行う。

- a. ボルトをゆるめ、各部品が動かない程度に締め付ける。
- b. ボンネット(A)の位置および閉まり具合を調節する。
 - ・ ボンネット ヒンジ(B)の前後、左右方向調整により、ボディとの隙間を調整する。左右方向調整の際は、ボンネット ロックも同時に調整すること。
 - ・ ボンネット クッション(C)を回転することにより、ボンネット前端部上下方向の調整を行う。
 - ・ ボンネット ロック(D)の上下方向調整により、ボンネットの閉まり具合の調整を行う。また、ボンネット ロックの左右方向調整により、ストライカ(E)との干渉がなく中心でロックされるように調整すること。



- c. 各ボルトを締め付ける。